

越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップの進め方について

1. 会議の手法

● ワークショップによる会議

- ワークショップとは、様々な立場の人々の参加により、一定の時間とルールに基づいて、意見交換や共同作業を行いながら、前向きに議論し成果を共有化する会議の一つの手法です。
- 市民ワークショップの皆さんのご意見、ご提案をより集約的かつ効果的に聴取し基本設計への反映を図るため実施します。

2. 運営体制

● グループ分け

- ワークショップによる会議では、多様なご意見、ご提案が出されることから、一定時間内に効果的な意見集約を図るため、メンバーを【A】、【B】の「2つのグループ」に分け、同時並行で会議を進めます。

● グループ検討の進め方

- 具体的な作業等を進めるにあたっては、2つのグループに分かれて、ワークショップを行いながら、各グループの意見や提案をとりまとめます。
- 会議は、主にグループファシリテーターが進行役（※各グループにコンサルタントを配置します。）となり、各グループの会議を進めます。なお、ワークショップの作業進行は総合ファシリテーターが務めます。

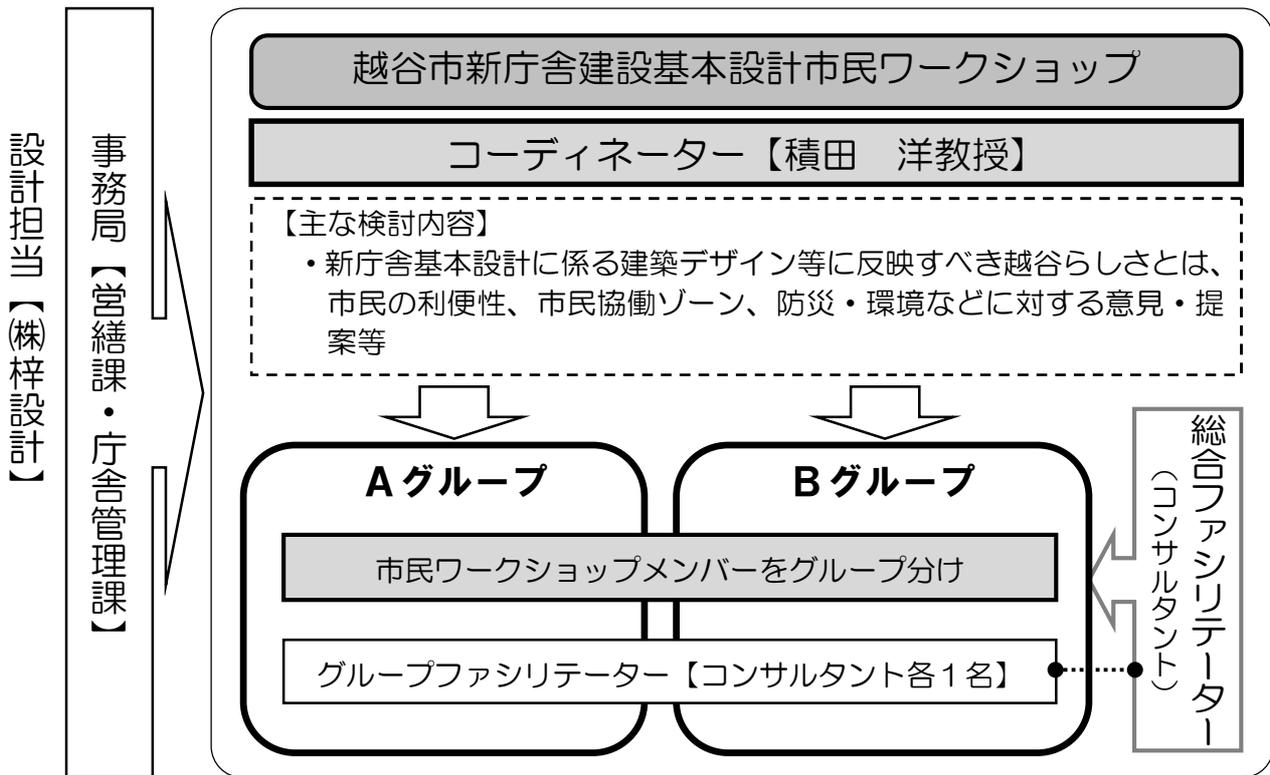
※ファシリテーター：一般的に「会議の進行役」と捉えられていますが、特に「中立的な立場で」「議論のプロセスを管理し」「チームワークを引き出し」「成果が最大限となる」支援を行う役割を担います。

3. ワークショップのまとめ

● ワークショップの成果を発表

- グループでの議論や検討結果を会議全体で共有するため、各回の最後に当日のワークショップのまとめを数分程度で簡潔に発表します。
- 発表は各グループの中で各回選定した発表者が行います。

■ 市民ワークショップの運営体制



■ ワークショップのイメージ



● グループ分けによる進行



● グループディスカッション

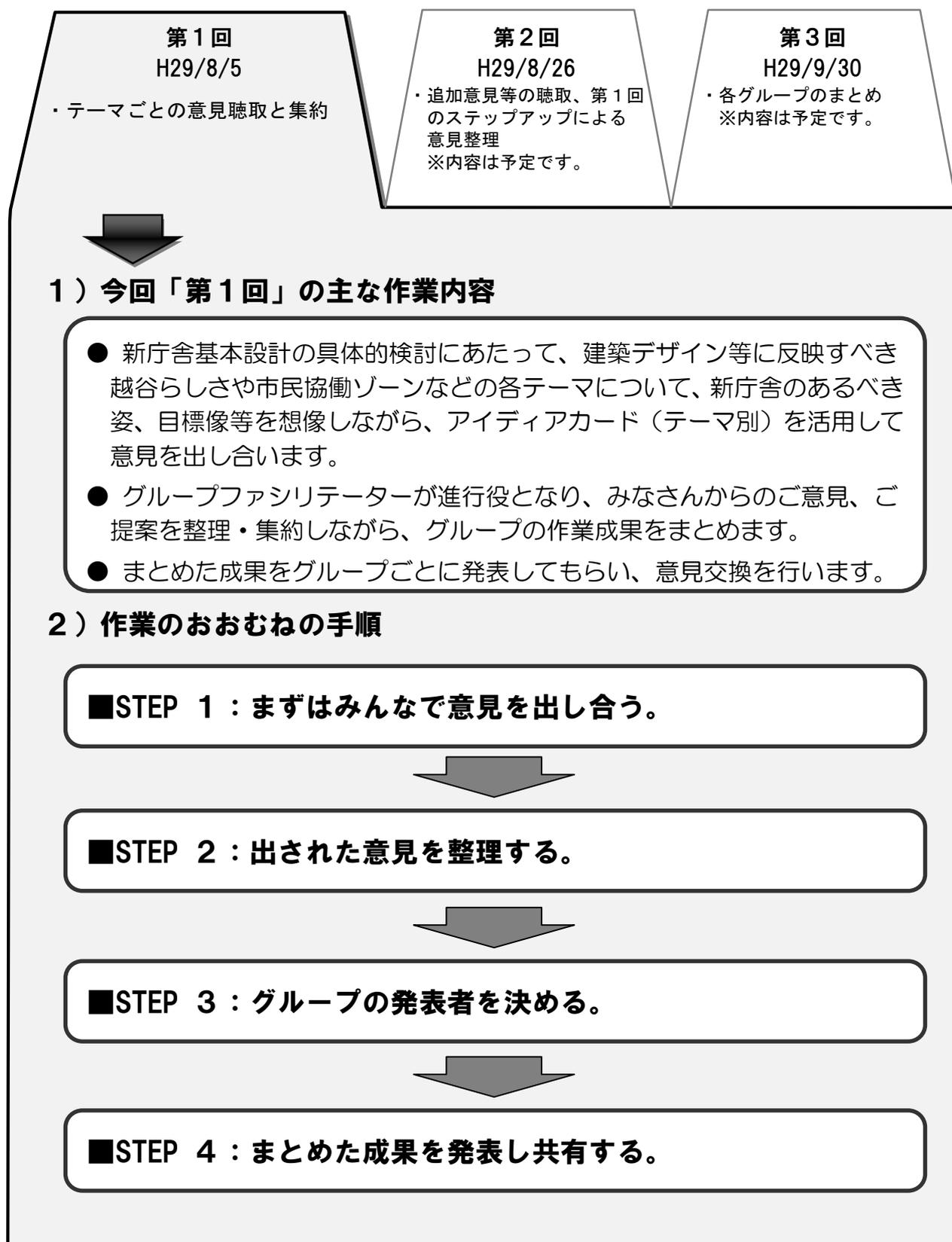


● グループディスカッション



● グループ発表者による当日のまとめ発表

4. 第1回ワークショップについて



※具体的な作業イメージは次頁に示します。

5. ワークショップの具体的手順

■STEP 1：まずはみんなで意見を出し合う。

- お手元にある5色のアイディアカードに、各テーマに則した課題や目標、ご意見・ご提案等を具体的に書き出してみましょう。

【あ お】

テーマ1

建築デザイン等に
反映すべき越谷ら
しさに対する意
見・提案

【クリーム】

テーマ2

市民の利便性に
対する意見・提案

【ピンク】

テーマ3

市民協働ゾーン
に対する意見・提
案

【みどり】

テーマ4

防災・環境に対す
る意見・提案

【しろ】

テーマ5

その他の意見・提案
(市民ができること等)

※1枚のアイディアカードに、一つの意見を簡潔にご記入下さい。カードはいくつ出されても結構です。

● 提案等を記入



● 意見を整理



■STEP 2：出された意見を整理する。

- みなさんから出されたアイディアカードを、同じ意見の間をひとまとめにしたり、相互関係をみながら模造紙に整理します。



■STEP 3：グループの発表者を決める。

- 本日のグループでの意見のまとめの発表者をグループメンバーの中から1名選出します。



■STEP 4：まとめた成果を発表し共有する。

- 各グループでのワークショップの結果について、発表者が代表して発表します。
- 各グループの発表を踏まえ全体で意見交換を行います。

● 成果を発表



6. ワークショップを行うにあたっての留意点

- 「ワークショップ」とは会議の一つの手法で、様々な立場の人々の参加により、一定の時間とルールに基づいて、まちづくりなどの計画を前向きに議論し、立案していくものです。
- それには、一人ひとりの意見をきちんと尊重し、それぞれの立場を理解しながら進めることで、建設的かつ創造的な成果を全員で共有することが大切です。

計画に関わることに
ついて話し合しましょう

- 計画策定のための議論の場ということをお忘れずに、テーマに即した意見や創造的な提案・アイデアを出し合しましょう。

みんなの意見を
よく聞きましょう

- 意見の発表は簡潔に行い、いろいろな人の意見が出せるように時間配分を考えましょう。

自分と反対の意見も
よく理解しましょう

- 自分と異なる意見も否定せずに、その人の意見をよく聞き、主旨を理解するようにしましょう。

